

## H28.8月から9月にかけての大雨災害に関する検証

機関名：北海道警察本部

## 1 今回取った主な活動状況

- 災害警備本部等の設置
  - ・ 道本部、関係方面本部、関係警察署では、災害警備本部等を設置し災害対応にあたった。
- 情報収集
  - ・ 自治体へのリエゾン派遣
  - ・ 警察無線を活用した現場情報、航空隊ヘリのヘリテレ映像等を活用した被害状況の把握
  - ・ 海上保安庁巡視船と連携した孤立地域への警察官派遣による情報収集
- 住民の避難誘導
  - ・ 警察署大型バスを活用した住民の避難誘導
- 救出救助
  - ・ 浸水地域における高齢者等の救助活動
  - ・ 航空隊ヘリによる浸水地域孤立者の救助活動
- 行方不明者の捜索
  - ・ 部隊（機動隊、警備隊、災害救助犬、航空隊ヘリ、方面本部執行隊、隣接警察署第二機動隊）の派遣による捜索活動
  - ・ 自治体等防災関係機関と連携した捜索の実施
  - ・ 土砂崩れ事案の発生に伴う捜索活動（結果：人的被害なし）
- 避難所警戒及び避難者支援活動
  - ・ 女性警察官を中心とした相談受理など避難者支援の実施
- 道路損壊、河川氾濫、土砂崩れ等による交通規制措置
  - ・ 通行止め、迂回路設定などの実施
- 110番通報に対する対応
  - ・ 通報に対する個別対応（倒木、屋根のはがれ等）
  - ・ 停電に伴う信号機滅灯対策
- 警戒活動
  - ・ 避難地域における流動警戒等パトロールの実施による防犯活動
- 警察通信網の確保
  - ・ 警察情報通信部による映像伝送、中継所の整備

（裏面へ続く）

## 2 個別事項

項目	発生時点	事実関係	課題	対処方法の方向性
救助救出	高潮による浸水	孤立した高齢者の避難誘導及び避難困難者を背負い搬送した（門別署）	必要な装備資機材が未整備である	ゴムボート、胴長靴の整備を要望する
情報収集 ・通信 (釧路)	停電及び各種電話の不通により連絡手段が途絶	被災地の状況等に不明点が多く、確定情報の把握が困難であった。	各機関独自に入手した情報の共有化	リエゾンの有効活用及び合同本部等での情報の一元化の推進
交通	交通寸断箇所が広範囲、複数発生	目撃者等から多数の通報があったが、現場に時間を要した	道路管理者とのさらなる連携	各機関の臨場箇所、現場状況情報などを共有し、措置が重複しないようにするなど効率化の推進
交通	河川の氾濫	通行止め規制区域内において水没車両があった	交通規制については道路管理者において、物的に車両が入れない措置を講じる必要がある	通行止め開始時の区間内の点検強化、通行止め措置要領の一元化
孤立地域	孤立地域が発生	羅臼町で道道の土砂崩れが発生し、現地入りする手段がなかった	公的機関同士のほか、一般企業などとの連携強化	海路を活用する場合、漁業関係者にも協力依頼するなど、手段の多角化を推進